

3 今日テーマ:スケジュール調整、 実習の心構え① 授業DVD視聴①

	項目	誓約書	提出	
	・参加意思確認		6月4日	6月8日
	・スケジュール確認			
	・国内実習先の決定			
	・授業見学候補日決定			
	・課題 1		6月4日	6月8日

1) スケジュール調整→決定

- ①授業見学
- ②国内実習

2) 【作業/課題】

授業の動画を視聴して、ポイントについて考える。

- ①6つのアドバイスで授業が代わる！『教え方』上達DVD
- ②その他の動画検索

3) 実習の心構え

日本語学校に授業見学に行く時から、インターンシップは始まっています。

- ①感謝の気持ち
- ②マナー
 - ・言葉/挨拶
 - ・服装
 - ・時間管理
 - ・報告/連絡/相談
 - ・事前～見学中～事後
 - ・その他

5 授業見学の実施（日本語学校）

日付	氏名	
6月24日 月 午前		5名
6月25日 火 午前		2名
6月26日 水	午前	1名
	午後	3名
6月27日 木 午前		5名
6月28日		3名
7月11日		2名
7月12日		1名
		22名

【東京国際ビジネスカレッジ神戸校】

6月24日	4名
-------	----

1. 見学（見学先、日程、同行する学生等）の確認
2. 事前
 - ①自己紹介メール⇒先方にとって煩雑にならないように、各自ではなく代表を決めてメールする。
 - ②訪問日の待ち合わせ（場所、時間、連絡方法など）
 - ③見学記録の様式確認
- 3.事後 代表者は、お礼のメール（見学先へ）と終了報告メール（上田へ）を出す。

機関名：	大阪YMCA国際専門学校
住所：	〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目5-6
電話/FAX	Phone:06(6441)9068 Fax:06(6443)2069
ご担当：	亀田 美保（かめだ・みほ）先生 e-mail:kameda-miho@osakaymca.org
機関名：	東京国際ビジネスカレッジ神戸校
住所：	〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通4-1-6
電話/FAX	TEL：078-222-0830 FAX：078-222-0831
ご担当：	咲花 美紀（さくはな・みき）先生 e-mail:m_sakuhana@tbbc-kobe.jp

6 今日テーマ:授業見学の振り返り、本実習に向けて

1) 「日本語インターンシップ」の授業でフィードバック

- ① 実習生は見学で気づいた点を5つずつ挙げる。
- ② 実習生同士でディスカッション
- ③ 自分の実習にどのように生かすか、考える。



★「KJ法」で情報の整理⇒分析
具体的な経験⇒抽象化

日本語学校からのフィードバック
働く場所でのポイントは何か。

2) 韓国実習、グループ分け

「しおり（仮）」を見て、学習者像を考える。

初級と上級を担当する。⇒グループ分け⇒担当時間の決定

3) 臨時学費について

7月8日（月）～13日（土）

4) 授業DVD

次回 7/13（土）7/16（火）

- ①初級 基本的な学習活動は何か。
- ②上級 授業設計：何を身に着けるために、どんな言語活動を、どれぐらいの時間ですか。

課題： 次の言葉を調べてきなさい。それを実習でどのように生かすことができるでしょう

- ①CEFR （セフアール）
- ②生教材 （なまきょうざい）
- ③プロジェクトワーク

2. 今後の日程

第7回 7/13,7/16 ○初級および教案作成のポイント ○試験期間中～8月上旬の日程調整

7/23 5限 全員集合（短い時間で終わります）

7/30 第1回教案提出の準備（打ち合わせ程度の時間です）

第8～9回 8/5～8/10

グループごとに自主的に準備⇒模擬授業。この期間中に少なくとも担当する3クラス（初級、初中級、上級）の模擬授業を行うこと。教室は開放しているので、グループごとに日程を決めて使用すること。グループでよく相談してください。

必要に応じて上田も参加する。

○教案提出締切：8/5（第一回）⇒指示に従って修正⇒8/13（第二回、完成版）

3. 松下先生へのご挨拶

韓南大学校では、松下由美子講師に実習指導のお世話になります。各グループの代表者を決めて、メンバー紹介のご挨拶メールをグループごとに松下先生に送ってください。

時：今～7月18日までにメールを送ること 連絡先： 以上

7 本実習に向けて（教案作成など）

【国内・海外】

- 1) 実習スケジュール確認
実習先への挨拶メール⇒打ち合わせ日調整
- 2) 評価について
「成績評価票」配布
- 3) 教案作成のポイント

【韓南大学校実習生】

- 1) 「実習のしおり」配布 ⇒ 各自担当を確認⇒分担
- 2) 7月8月のスケジュール決め
7月23日 韓南大学校 全員集合
7月30日 旅行社からの資料を配布（予定）
8月5日 第一回教案提出締切
8月5日 ～8月10日 E-401で自主練習、模擬授業
8月13日 第二回教案提出締切

① レベル別 【初級】 L9,L10 【初中級】 L13,L14 【上級】 自主教材

② 技能別 読む、 書く、 聴解、 会話、 総合

3) 日程調整

- ① 準備期間中、E-401を開放するので、そこで教案づくりなどをしてください。
時間帯は午前10時～午後4時としましょう。鍵の管理があるので、それも相談しましょう。
ただし、松下先生への第一回教案提出締切は8月5日ですから、それより前に準備を始めること。
- ② 下の表をもとに、模擬授業日を決める（上田たちあい）
そこから逆算して教案づくりや授業の練習日を決める。

	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日
午前						
午後						
備考 8/7～9：岡本、滝野は国内実習						

		教育実習生	8月20日	8月21日	8月22日
①	A		初級	上級	初中級
	B		『みんな』 L 9	自主教材	『みんな』 L14
	C				
②	D		初級	上級	初中級
	E		『みんな』 L 9	自主教材	『みんな』 L14
	F				初中級
③	G		初中級	初級	上級
	H		『みんな』 L13	『みんな』 L 9	自主教材
	I				
④	J		初中級	初級	上級
	K		『みんな』 L13	『みんな』 L 10	自主教材
	L				
⑤	M		上級	初中級	初級
	N		自主教材	『みんな』 L13	『みんな』 L 10
⑥	O		上級	初中級	初級
	P		自主教材	『みんな』 L14	『みんな』 L 10
	Q				

問 1

①チームのメンバーについて確認してください。

②授業は通常、「導入」⇒「練習」⇒「応用」の順で展開します。あなたのチームは、どのチームから受け継いで、どのチームへバトンを渡していきますか？

チーム・ティーチング (TT)の流れを確認してください。

【例】初級は①⇒②⇒③⇒④⇒⑤⇒⑥、ですね。あなたのチームはだれから受けてだれに渡しますか？あるいは最初に担当しますか？

初級：

初中級：

上級：

問 2


短期間に3つのレベルの授業を担当することになります。

①チーム内で、それぞれ初級、初中級、上級の主担等を決めて、

②その担当者が教案の取りまとめをしてください。

担当者名：

問	初級・初中級のテキストについて、学習項目をかき出しなさい。 そのうち、どの部分をあなたのチームは担当しますか。			
初級	『みんなの日本語』	導入	練習	応用
L9				
初級	『みんなの日本語』	導入	練習	応用
L10				
初中級	『みんなの日本語』	導入	練習	応用
L13				
初中級	『みんなの日本語』	導入	練習	応用
L14				

<p>上級の活動では、自主教材を用いて行います。 活動テーマを、内容別と技能別との双方から提案してください。</p> <p>①その活動で、何を学ぶことができますか。</p> <p>問 3 到達目標について、CEFR,あるいはJFスタンダードをもとに検討すること。 参照サイト：https://jfstandard.jp/summary/ja/render.do</p> <p>②そのためにはどんな準備が必要でしょうか。</p>	
上級	<p>テーマ（内容別）</p> <p>テーマ（技能別）</p>
自主教材	<p style="text-align: center;"></p> <p>何ができるようになる（ことを目指す）か？</p>

7③ 本実習に向けて 日程調整

1) メンバー確認 ⇒ 今後は班行動を重視します。

2) スケジュール調整

7月23日 全員集合、顔合わせ	}	①分担確認 (チーム間調整)	}	チーム内調整
?		②初級 教案作成		
7/29-8/3 前期試験期間		③初中級 教案作成		
	④上級 教案作成			

8月5日 第一回教案提出締切⇒松下先生へ

8月5日

～

8月10日

各自作業

模擬授業 (各班、必ず1回は全員そろって行うこと)

8月13日 第二回教案提出締切⇒松下先生へ

大学休校期間

8月19日 韓国へ

8月20日 午前：最終教案調整 午後：実習

3) 2) の流れ図に従って、各班で打ち合わせ予定を立てること

※その際、上田の同席が必要なら時間を予約すること

【今日のまとめ】

欠席：

配布物：教案モデル（①初級、②初中級）

1) 参加者自己紹介

- ・本日より実習終了日まで、班単位で活動することになる。
- ・点呼も班単位で行うので、各自確認を怠らず責任を持って行動すること。

2) 各班で8/5までのスケジュールを立てる。

⇒何を、いつするか、いつ集まるか

3) 各主担当者の確認

各班/クラス	初級	初中級	上級
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

4) 次の全員集合ミーティング⇒不要（各自教案を作成して締め切りまでに松下先生に送

- ・次の集合日（8/5～8/10の間）については、LINEで調整する。

※旅行の資料等を配布するので、この期間中に必ず出席すること

※10時～16時をめどにE-401を開放。上田は基本的に出勤しているが、面談は事前に予約をとること

5) 担当クラス別打ち合わせ

- ・各班から主担当者が集まって、担当部分等を調整。

クラス	各班の主担当、責任者	内容（上田観察部分のみ）
初級		欠席者が多いので、別途調整
初中級		L14の担当分け、L14までの既習動詞の整理（3グループに分ける）
上級		2テーマ（デートプラン、就活）で資料収集、JFスタンダードのB1B2レベルで授業組み立て

6) 課題

- ・配布した教案①初級②初中級を熟読し、授業の流れを頭に描いてみること。
- ・②班は、近々に上田まで連絡（その他欠席者は、各班で情報と資料を取得しておくこと）
- ・8/5の締め切りに遅れずに第一回教案を提出すること。

8 模擬授業①

各班/クラス	初級	初中級	上級	教案・初級	教案・初中級	教案・上級	模擬授業
①							
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

- 1 日本旅行社より
チケット
各種資料

- 2 各班進捗状況

10

評価セッション

日本語教育インターンシップのふりかえり

1. 実習生氏名

2. 実習先

3. 期間

4. 指導担当者

5. 担当したクラスについて

学習者	
学習内容	
教室活動	
その他	

6. 授業外

担当教員の様子	
学習者の様子	

7. 授業について

担当内容	
うまくできた点	
うまくできなかった点	

8. 「日本語教師のインターン」として必要な資質について、自己評価してください。

	《不足している》	《十分ある》
アカデミック面	←-----	----->
授業技法面	←-----	----->
授業運営面	←-----	----->
社会人基礎力 (職場で同僚や先輩と協力して仕事をする能力)	←-----	----->

問い：

- ① 「実習先からの評価」について、どのように考えますか。
- ② 不足している点は、具体的にはどのような内容ですか。それにはどんな対応が考えられますか。
- ③ 実習中に、上記の能力で、自分が一番伸びたと思う点はどれですか。
- ④ その他、気づいたことを書いてください。